

独立映画鍋のクラウドファンディング・プロジェクト

2012 年度

- ・『うらぎりひめ』の配給宣伝費(岩名雅記、46 人、614,000 円)
- ・『ムネオイズム』の配給宣伝費(金子遊、46 人、437,515 円)
- ・『タリウム少女の毒殺日記』の配給宣伝費(土屋豊、128 人、2,448,500 円)
- ・『さまよう春(仮)』の制作費(海南友子、74 人、1,088,001 円)
- ・『さようなら』の制作費(深田晃司、52 人、979,000 円)
- ・「イーッカさんとの対話」事業実施支援(藤岡朝子、37 人、103,000 円)

2013 年度

- ・『トークバック 女たちのシアター』の制作費&宣伝費(坂上香、103 人、3,302,500 円)
- ・『ASAHIZA』制作支援(藤井光、78 人、1,112,000 円)
- ・『シャルロット／すさび』製作資金(岩名雅記、112 人、1,303,000 円)
- ・『ジェラシー／Jealousy』製作資金(山本俊輔、64 人、531,000 円)
- ・『ねぼけ』ロケ費用サポート(壺岐紀仁、119 人、1,915,501 円)
- ・『わたしたちに許された特別な時間の終わり』配給宣伝協力(太田信吾、113 人、1,603,000 円)
- ・『神視る女(ひと)』制作費用サポート(松浦真史、10 人、140,000 円)
- ・『ニッポンの麻やけ』の製作資金(中村ららら、1 人、5,000 円)

2014 年度

- ・『KAMPAI』制作支援(小西未来、159 人、3,448,000 円)
- ・「new CINEMA 塾」支援(原一男、17 人、127,000 円)
- ・『憂恋の花』配給宣伝(浦嶋嶺至、12 人、94,500 円)
- ・『三里塚に生きる』配給宣伝・劇場公開支援(代島治彦、112 人、1,070,000 円)
- ・『ねぼけ』配給宣伝費(映画「ねぼけ」製作委員会、115 人、1,704,074 円)
- ・『自主上映/JISHU-JOEI』制作協力(山口亮、34 人、208,500 円)
- ・『レイシスト・カウンター』公開配給宣伝費用、字幕作成費用(わたなべりんたろう、163 人、1,445,000 円)
- ・『ナオトひとりっきり』劇場公開支援(中村真夕、125 人、2,175,778 円)
- ・『波伝谷に生きる人びと』劇場公開協力(我妻和樹、76 人、669,000 円)

2015 年度

- ・『双子の星』製作支援(原将人、39 人、670,000 円)
- ・漫画『夢幻紳士』映画化支援(海上ミサコ、127 人、1,450,000 円)
- ・『ぼぼんぐわァ』制作費支援(成瀬都香、58 人、557,000 円)

2016 年度

- ・『自由を手にするその日まで』(天野友二朗、30 人、316,500 円)
- ・『三里塚のイカロス』(代島治彦、213 人、3,160,500 円)
- ・『審判』(ジョン・ウィリアムス、166 人、3,618,000 円)
- ・『プリズン・サークル』(坂上香、276 人、7,013,500 円)
- ・『Cambodian Textiles』(歌川達人、129 人、1,570,777 円)
- ・『ビハインド・ザ・コーヴ』(八木景子、449 人、10,277,779 円)
- ・『レミニセンティア』(井上雅貴、42 人、523,200 円)
- ・『At the terrace テラスにて』(山内ケンジ、96 人、1,054,000 円)

2017 年度

- ・『被ばく牛と生きる』(松原保、156 人、1,896,000 円)
- ・「ムービンピック」映像製作競技会(ムービンピック実行委員会、12 人、65,000 円)
- ・『願いと揺らぎ』(我妻和樹、84 人、806,000 円)
- ・短編映画『歩けない僕らは』(登山里沙プロデューサー、76 人、816,333 円)
- ・『あの日々の話』(玉田真也、93 人、900,000 円)
- ・『パラレルワールド・シアター』(堤真矢、102 人、1,285,000 円)

2018 年度

- ・「ベトナム映画祭 2018」(アルゴピクチャーズ、57 人、681,000 円)
- ・『シャルロット すさび』上映宣伝費(岩名雅記、138 人、1,928,000 円)
- ・『異邦人 L'Étranger』(Cica、64 人、1,176,000 円)
- ・『天空のトラ』パイロット版制作(松原保、86 人、1,231,000 円)
- ・『自治と青春(仮)』(藤川佳三、207 人、2,568,500 円)